

## 信用金庫の新しいビジネスモデル策定（21）

－ 店内・店外ATMの効率化動向 －

### ポイント

- 信用金庫のATM設置台数は減少傾向にあり、2022年9月末のATM設置台数は2002年9月末から9.6%減少している。
- 経営合理化などを目的に信用金庫の設置するATMは、台数面と機能面から効率化が進み、特に足元では店外ATMの廃止が相次いでいる。
- 取組時の検討課題は、①時間軸による判断、②優先順位付け、③代替チャネルの提供などがある。
- 研修受講金庫の取組事例を挙げると、店外ATMの段階的な廃止や店内ATMの1台化、ATMの機能・サービスの限定が多かった。

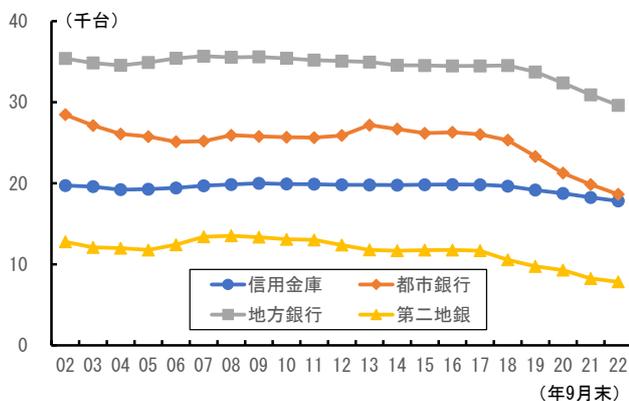
（注1）本稿は、当研究所主催「経営戦略プランニング研修（2023年度）」の講義および意見交換時の内容を中心に作成している。

（注2）本稿は、ニュース&トピックス（2022-134）「信用金庫の新しいビジネスモデル策定－店内・店外ATMの設置動向－」のアップデート版となる。

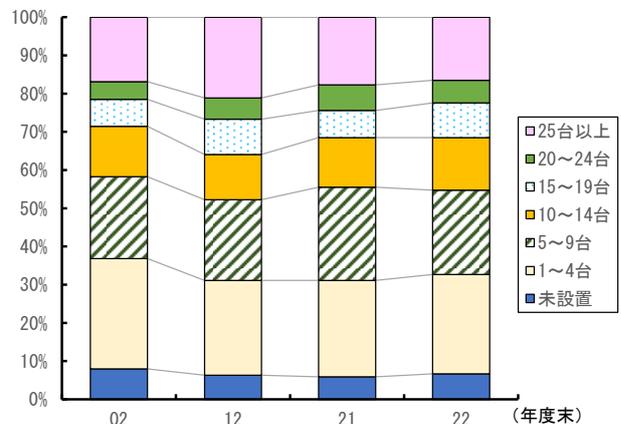
### 1. ATM設置台数の推移

人口減少が加速するなか、キャッシュレスの進展やコンビニATMの普及拡大などもあり、ATM設置台数を削減する信用金庫が増えている。2022年9月末の信用金庫のATM設置台数は、前期比2.3%減少の1万7,820台となり、6年連続で前年同月末を下回った（図表1）。また、2022年度末の店外ATM設置台数は7年連続で減少しており、信用金庫別でみると25台以上は42金庫（構成比16.5%）に留まる（図表2）。

（図表1）ATM設置台数の推移  
（業態別）



（図表2）信用金庫別の店外ATM設置台数  
（構成比）



- （備考）1. 本稿では他業態との合併等を考慮していない。  
2. 図表1は全国銀行協会「決済統計年報」より、図表2、3は信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

## 2. 主な効率化策

A T Mの効率化は台数面と機能面から進んでおり、特に足元では不採算・低稼働率の店外A T Mの廃止が相次いでいる。廃止の決断に至らないまでも、硬貨入金機能の停止や稼働時間の短縮といったサービス見直しが全国で見られる。その一方で、他金融機関とのA T M無料提携を拡充し、顧客利便性を確保する動きなども活発である。

## 3. 効率化時の留意点

取組時の検討課題は、①時間軸による判断、②優先順位付け、③代替チャネルの提供などである。冷静な判断に立てば10年後に自前A T Mの必要性は相当低下すると想像される。だとするならば、償却期間や賃貸借契約の更新時期を逆算してA T Mの効率化に取り組んでいく必要がある。ただし、効率化にあたっては急激な顧客利便性の低下を招かないよう、例えば代替チャネルの提供なども実施しておくことが望まれる。

## 4. 研修受講金庫の取組事例

当研修の意見交換時に聴取した研修受講金庫の主なコメントは図表3のとおりである<sup>1</sup>。

(図表3) 店内・店外A T M効率化に関する主なコメント

- 当金庫は稼働率の低い店内A T Mの1台化に取り組んでいる。その際は、3か月前からポスターなどで周知を図り、顧客の理解を得る。
- A T Mコーナーに顧客が並ぶのは1か月のうちの数日・数時間である。A T Mの台数を削減しても周知が進めば顧客は空いている時間帯にA T Mを利用ようになる。
- 当金庫は、最終的に店内A T Mは1台化、店外A T Mは全廃を目指している。まずはA T Mの買替えなどを行わず、順次減らしていく考えである。
- 当金庫は、店舗内店舗を実施後に(店外)A T Mを残さない。中途半端に残すと、店舗跡地の売却が困難になるし、コスト削減効果が限定されてしまう。
- 当金庫はA T Mの硬貨入金機能を停止し、加えて両替機も廃止したが、最近はキャッシュレスが進んでいるからか、顧客の不満はゼロに近い。
- 当金庫は警備料を削減するため、A T Mの稼働時間を短縮した。どうしても早朝や夜間に出金したい顧客はコンビニA T Mを利用するだろう。
- 当金庫は自前の店内A T Mを削減し、代わりにコンビニA T Mを設置する方向で検討している。コンビニA T Mに委託料を払うが、トータルのコストは削減できるとみている。
- 当金庫は地域銀行とのA T M無料提携を拡大している。勝ち負けは何とも言えないが、少なくとも自前のA T Mを削減しやすくなる。

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

<sup>1</sup> 当該コメントは研修受講者の個人的な意見・感想を含むものであり、研修受講金庫の正式なコメントではない。そのため事例の記載にあたっては信用金庫名が特定できないように修正してある(信用金庫名の照会や関連資料の提供依頼にはお応えしていません)。